



根 笹

2024

(令和6年)

11月1日

■発行 根笹会 静 朋人
 ■住所 〒379-0116
 群馬県安中市安中3702
 ■TEL. 027-381-0240
 ■FAX. 027-381-0630

新島学園同窓会の皆様こんにちは。会長の静朋人(32期)です。前任の立見会長より引き続き本格的なコロナ明けの状況下にて一年間、同窓会行事や学校行事等に参加させていただきました。特に印象的だったのは2月に開催の同窓会入会式です。高校の卒業生を前に同窓会組織や行事について説明をさせていただきました。次は会えるのは早くも20年後、中には遠く離れてしまうと、もう会えない場合もあります。やはり若いメンバーに興味を持ってもらえるような行事を開催するために、企画の段階からスタッフとして参加をしてみよう必要がある、と初めて認識いたしました。

また6月には理事・評議員会の総会が開催されました。全ての議案を可決して頂きましたが、その中で立見会長時代からの預金残高の一部を定期預金に振り替えさせていただくこととなりました。これは一般会計の中で通常の運営金額と残高を把握し、学校運営に寄与する目的の寄付等の予算措置となります。一年間をかけて学園とよく相談をし、何が今必要なのかを見極めたうえで次年度の総会にかけさせていただきます。

さて世の中全体で若年層が激減をしていきます。この人口統計予測は最も信憑性が高いデータの一つとされ、我々はこの人口減少に立ち向かう準備と覚悟をする必要があります。行政ですらその存続が危機を迎える危険性が高まる中、学園も当然のごとく他校との大競争時代に突入をしております。ただ先々のデータをみて悲観をすることなく、他県や国外からの帰国子女、また世界を飛び回るビジネスマンの数年間の一時日本滞在需要の取り込みなど生徒獲得の可能性は広がっており、関係者が一丸となってスピード感を持って短期・中期・長期の課題に取り組んでいく必要があります。高まっています。

学園では現在もキリスト教主



ごあいさつ

新島学園同窓会「根笹会」
 会長 静 朋人
 (32期)

役員紹介

会長・副会長



会長
 静 朋人
 32期 安中市



副会長
 山田 中久
 26期 安中市



副会長
 田中 美香
 29期 安中市



副会長
 萩原 永史
 25期 安中市

事務局長
 須川 裕(36期)

事務局員

沖田 恭子(28期)

酒井三恵子(36期)

外処 順子(37期)

黒岩 未夢(67期)

幹事



湯本 直也
 28期 前橋市



大野 晋吾
 34期 富岡市



山田 恵一
 37期 安中市



高橋 司
 42期 下仁田町



萩原 昌弘
 45期 安中市



前田 美佐
 43期 高崎市



白田 周一
 30期 桐生市



横山 慶一
 38期 富岡市

監査



和田 弘
 27期 前橋市



湯川 嘉昭
 31期 富岡市



陳 美穂
 34期 高崎市



菊地 和美
 37期 高崎市



長壁 亜紀子
 41期 高崎市



山口 香子
 44期 安中市



根岸 誠
 28期 高崎市

義にのっとり唯一無二のユニークな教育が実践されており、生徒たちは一生の友人に出会うきっかけとなるキラキラとしたキャンパスライフを過ごしています。厳しい外部環境が続いていくに間違いはありませんが、逆に新島学園の本領を発揮する

チャンスともいえると思います。同窓会は、卒業生の情報ネットワーク・親睦の団体から学校の事業運営に具体的な協力のできる団体が変わっていきたいと思います。皆様のご理解とご協力を今後とも宜しくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ
同窓会では、新島学園中学校・高等学校フライバシーポリシーに基づき、本人の同意を得ずに、個人情報報を第三者に提供する事はありません。

「新島楽園・新島学園」



学校法人新島学園

理事長 学園長

湯浅 康毅

この度は2024年度新島学園中学校高等学校同窓会会報・根笹の発行、誠におめでとうございます。今回もこうして紙面を通して同窓生の皆様にご挨拶をさせていただく機会に恵まれ感謝しております。

日頃根笹会の静会長様始め役員の皆様、各地区根笹会の会長様をはじめ同窓生の皆様には母校・新島学園のことをいつも心に留め、応援いただき誠に有難うございます。

今年も昨年同様本部総会も無事終わり、各地区根笹会総会及び懇親会の開催も順調に行われ、同窓生同士の交流も更に活発になり大変嬉しく思います。また

開催の折にはいつも私含め校長並びに法人本部の関係者もお招きいただき誠に有難うございます。

根笹会の交流がより多くの新たな同窓生にご参加いただきますます進化と同時に深化され、私も新島学園もその発展と共に歩んでいきたいと願っております。

さて今年新島学園は創立77周年を迎え、春には79期生・中学1年生を礼拝堂でお迎えし新たな歴史の1ページが刻まれました。いつも講壇の上から見下ろすようなかたちで新入生と保護者の皆様と対面いたしますが、この時にいつも思っていることは生徒、

保護者の皆様に仕える立場として現在の使命を新たにさせていただいていることです。短い一生の中で一番体と心が成長するかけがえのない時にできる限り良質で本物の思い出を提供できる学び舎として歩んでいくことが出来るように、その心をいつも中心に置いて大切にしていきたいと思っております。

2017年に掲げました創立70周年ビジョン「NIJIMA GAKUEN GRAND DESIGN 2027: 木を育てる。」は10年長期計画としてこれまで歩んできましたが、目標の2027年まで早くもあと残り3年ほどになります。

現在まで進めてきているコンセプトである「良心を育むためのソフトとハードの再整備」も皆様より多大なご協力をいただき「いのちの教育」を始め数多くの新島学園らしい取り組みを重ねることができております。

既に次の80周年ビジョンは「NIJIMA GAKUEN GRAND DESIGN 2037: 林を育てる。」

としていることから、2037年の学校運営の在り方を見据えた時に求められる、森を育てるような有機的に成長していく新島学園の姿を今後お示ししていきたいと思えます。

現在OECDによる最新のPISA調査(学習達成度調査)によると、一時期落ち込みのあった日本はコロナ禍を経て再び世界トップレベルとなり、特に韓国、台湾、リトアニアと共に「レジリエントな国」として評価を受けていますが、一方で世界的な教員不足の状態が続く中で、また超少子化が進んでいく中で如何に教育支援システムの構築含む最適な学びの環境を備えていくかが問われています。

一方で日本は世界の中で最も深刻なレベルで少子高齢化が進み、社会的格差が広がっていると同時に教育格差も広がっており、今後の国力の衰えに比例して教育の多様化が進むこととなる、結果的に教育の質低下に繋がる懸念されています。

身近なところでは最新の出生数を参照し、12年後に本学に入学する人数を想定すると現在の入学者数の半分になります。現在の在籍者数がおよそ1200名だとすると将来的には600名になってしまうわけです。特に都心部は別として地方都市である当地においてはその影響は大きく現在のまま何も変化なく

進んでいくとその数は更に減少していくと予想しています。遠い未来のように感じますが実はあっという間に目の前にこのような状況が迫ってきているのが事実であります。また一方で教育の多様化が進む中で、これからの教育に対して更に期待が高まっていることも肌で感じています。

加えて昨今学校関係者で話題となるのが、来年からの私立学校法改正の件になります。来年度より、理事選任機関の新設、理事と評議員の兼職禁止、監事を評議員会が選任する、職員評議員・理事または理事会が選任する評議員の上限設定、定時評議員会の概念の登場、学校長や重要な職員の理事会選任等、過去に例のない大規模な法改正が行われ、本学を含む各学校法人は寄附行為の改正を行わなければならないとなりました。

このように教育関係の一つ例にとってみても上下左右含む360度全方位から様々な状況に直面しており、一部硬直化が進んでいるように感じています。学びの自由が赦されていることが大きな特徴の一つである、建学の精神に基づき立脚している私立学校の特長・特性が希釈され、どの学校も似たような教育機関になっていくのでは、と危惧していることも正直に申し上げなければなりません。

以前にも申し上げましたが大切なことは、学校法人新島学園は「私立学校」という存在であるということ。私立学校とは学校教育法、私立学校法で定められている、国立、公立でない教育機関です。私立学校振興助成法により補助金の交付を受けることから公共性が求められます。

戦前教育への深い反省に立って、公教育への民間参入の日本独自の制度として、「学校法人」制度は発足し、この学校法人制度により各学校が創意工夫を持ってより良い教育を行える「自主性」と、そのような教育を行うからこそその「公共性」を兼ね備えています。

私立学校とは、国・県・市・地方公共団体が設置した教育機関ではなく、「人の志」が中心にあり設立された教育機関であることです。また建学の精神・理念が根幹に定められ、設立の趣意によって独自性が本質的に守られている。また私立学校はその独自性である建学の精神、教育方針、教育理念を実現する「自由」が本質的に守られていると認識しております。

昨今、いたるところで多様な性・ダイバーシティという言葉がグローバルスタンダードとして認知され、個々の存在や個性が認められるようになってきましたが、日本における私立学校

という存在自体がそもそも多様な性・ダイバーシティの象徴であると言えると思います。

この流れにあって、私立学校の運営に対して常に考慮しなければいけないことは「外部環境変化の理解と主体的な取り組み：理念の具現化」の2点でありバランスが取れた運営が求められます。

外部環境変化の理解とは、学校教育法・私立学校法によって定められている学校法人として法律に則った運営と同時に時代の変化に対応した運営が求められます。

一方で主体的な流れとして、建学の精神の実現や特色のある教育を実践する私立学校の独自性が守られていることにより、自らの計画性と実行性を担保した主体的な意思決定が反映される運営を心掛ける必要があります。

私が現在の立場を担わせていただいている中で強調し、就任以来心掛けてきたことは後者の方です。常に判断基準が上からや横の何かではなく、自らのことは自らが決めることです。この点が私立学校に赦されている「自由」の定義であります。

外部環境変化をどのように我々の建学の精神・教育理念というフィルターを通して生徒・学生の皆さんの成長に寄り添い奉仕できるのか、体制として構築できるかどうか今後益々新

島学園に問われていくことです。

この中で一つこれから新島学園の価値として捉えておかなければいけないことは「新島楽園」だと思っています。この言葉は私の在学時には耳にしたことが無いワードですが、いつのまにか新島学園を象徴する、どちらかというところのある一部の関係者が椰揄や皮肉を込めて使い始めた印象を持っています。

新島学園での生活は楽しすぎて勉強しない、部活動一流・勉強二流、一般受験に弱い学校等々、学校というところは勉強が本分なのに楽しいとは一体何ぞやというお叱りの意味も込めて生まれた言葉なのだと理解しています。

たしかにこの言葉が生まれた背景をそのまま今後本学を象徴する言葉として継承することは反対ですが、別の視点から考えてみることも必要だと思っただけです。

それは「NINJIMA GAKUEN GRAND DESIGN 2027: 木を育てる。」のコンセプトである「良心を育むためのソフトとハード再整備」を具現化するために中高より先行して2020年に新島学園短期大学キャンパス内に新たに教育施設「新木造校舎」を備えましたが、最近こちらで開かれた集会に初めて参加させていただきました。

この校舎は創立100周年時に実現を目標としている「新島学園の森づくり」をイメージし、設計士の手塚貴晴氏が本学の今後構想しているストーリーから旧約聖書・創世記に出てくる「エデンの園」をオマージュしたもので、2021年にはポルトガルのリスボンで開催された世界建築祭の宗教部門で1位を獲得するに至りました。今回この場所で初めて祈祷会が開催され、「エデンの園」について理解を深めることができました。

本年度から中高出身・48期生で現在日本基督教団洪川教会の主任担任教師をお務めいただいている臂奈津恵先生が短期大学の宗教主任にご就任いただいたおり、この祈祷会の進行と感話を担当されました。この時に一緒に参加されたのは中宗教主任の楠元桃先生でした。現在新島学園では、本学出身の卒業生が新島学園の根幹であるキリスト教教育の実践を最前線で推進してくださっています。

臂先生からは「エデンの園」の実際の場所について、どのような特徴の土地であったのか、語源はどうなっているのか、他の聖書の箇所で見られているところはないかどうか、ゴルゴダの丘で処刑されるイエス・キリストと一緒に十字架にかけられた犯罪人が

語ったこと、そして最後に楽園感を述べられました。

個人的には「エデンの園」というと神に創造された人が神との約束を破り楽園から追放されるといふ人類最初の罪が生まれた場所とのマイナスイメージや試練の印象が強かったのですが、砂漠の中のオアシスをイメージする語源であることを背景に神より送り出される場所、再び戻ってくる場所、最終的に目指す場所・到達する場所と理解しました。また同時に物や欲求が満たされる楽園感ではなく、どんな大変なときにも神様が共にいてくださっていることを感じることができる楽園感を大切にすることが、という点についても強く印象に残りました。

是非このような楽園感を少しでも表現できるように「学びの園」づくりを目指し、適切に「新島楽園」という言葉を使っていきたいと思えます。



新しい学びに向かって



新島学園中学校・高等学校

校長 小栗仁志

新島学園中学校・高等学校同窓会根笹会 会報「根笹」の発行、おめでとうございます。また、平素より同窓会根笹会の皆様には、新島学園中学校・高等学校の活動にご理解、ご協力、ご支援を賜り、この場を借りて改めて御礼申し上げます。校長就任2年目を迎え、まだまだ力不足を痛感する日々であります。引き続きご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。最近の本校の様子をご紹介しますとともに、本校が、また、日本の教育界全体が直面している学びの変化にも触れてみたいと思います。

2017年に幼稚園、小学校、中学校の学習指導要領が、2018年に高等学校の学習指導要領が改訂されました。世界的な教育の潮流の変化を受けての改訂です。2024年は、その改訂された学習指導要領が全面実施となる年です。新しい学習指導要領の特徴は生徒の「育成すべき資質・能力」の変化、つまりは学力観の変化です。学習指導要領の総則には「基礎

的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かした多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること」と書かれており、生徒が身につけるべき資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」の3つの柱から述べています。

かつてのようなペーパーテスト中心、暗記と知識中心の学習ではなく、得た知識をいかに活用し社会に貢献していくのかが重要視されています。それに伴い、あるべき授業の形も学校カリキュラムの編成も変更が求められています。授業はかつてのように教師が一方的に説明し生徒が座ってそれを聴くようなチャート&トーク型の授業から、主体的・対話的で深い学びの実現を目指したアクティブラーニング型の授業へと変化してきています。まずは解決すべき課題を見いだし、その課題を解決す

るのに必要な知識を自分で調べて、その解決方法を時にグループで話し合い、まとめ共有していく、そうした主体的・対話的な授業がアクティブラーニングです。従来は「何を学ぶか」に重点が置かれていましたが、これからは「いかに学ぶか」により重点が置かれるようになっていきます。学校に滞在する時間の中で、どれだけ多くの知識を貯めこむかではなく、生徒が学ぶ姿勢を整えることが学校教育の役割になっていくことでしょう。

新型コロナウイルス流行に伴い、日本の教育現場にデジタル技術が急速に導入されました。電子黒板や大型モニター、1人1台端末を使つての授業展開は今や常識のようになっていきます。そうしたデジタル技術の進展はアクティブラーニング型授業を後押ししてくれます。本校でも数年前に導入した大型モニターやタブレット端末(iPad)が授業の中で活躍してくれています。私は高校3年生のキリスト教の授業を担当していますが、私の問いかけに対し、タブレット端末を通じて生徒の意見を迅速に集計することができ、相互の意見のやりとりが容易にできるようになっています。今の生徒は人前で発言するのを嫌がる傾向があります。その点、タブレット端末を使つての書き込みは生徒にとって取り組みやすいようで、教師、生徒双方の意見を交わしながら授業を展開することが可能になっています。

今年度本校は文部科学省の「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」に採択され、情報技術のより充実を推進しています。そして情報教育の充実と共にアクティブラーニング型授業への転換を図ってまいります。

また、従来は授業を通して教科ごとの知識を別々に得る形の学びでした。これからは社会の様々な課題を発見し、その課題を解決するのに必要な知識や技能とは何か、を考えて、教科の枠組みを超えて主体的に収集・習得していく、そうして得た知識や技能を元に仲間と共に課題の解決策を検討していく、そのような学びのスタイルがどんな学校現場に導入されていきます。いわゆる学際的な「課題解決型学習(Problem-Based Learning)」です。現在のカリキュラムで言えば、中学では「総合的な学習の時間」、高校では「総合的な探究の時間」が、そうした学びをより深める時間として重要になっていきます。

大学受験でも上記の時間に何を行ってきたかの情報を求められるようになってきており、受験対策的な意味でも、本校はより力を入れて総合的な学習、探究の時間を強化していきます。



アジア学院ワークキャンプ



安中市議会議員の方々との意見交換会

これからの学びは学校の中だけで閉じたものではなく、地域の様々な活動に参加する中で、地域の課題を発見し、その解決策を考えていく体験型、参加型の学習がより必要となっていくことでしょう。本校でもそうした変化に対応する形で様々な学びの機会を作ってきています。

現在、高校生を対象に進路指導部が中心になり課外活動として実施しているスタディツアーは、社会の様々な課題に触れるよい機会となっております。地域のボランティアの紹介も随時行っています。有志の歯科医師の方々が中心になって行ってくださっているフィリピン医療ボランティアが新型コロナウイルス流行に伴う中断の後に再開され、多くの高校生が参加してくれました。安中市議会議員の方々も生徒との意見交換会も行われました。安中市や高崎市の町づくりに関して参考意見を求められる機会があり、希望した生徒が積極的に参加してくれています。特に昨年度、現高校3年生の74期生が高校2年生であった時に、地元の企業・団体の皆様の協力を得て全員参加のインターシップ（職業体験）事業を行いました。数人1組で受け入れして下さる企業・団体に行き、実際の職業体験のみならず、企業・団体より出していた「事業所からの課題」への取り組み、発表など大変有意義な学びのときとなりました。失礼な行動などがないか心配した部分もあったのですが、学年の教師が事前によく準備をし、生徒を指導してくれたおかげで、受け入れ先の企業・団体からも大変好評をいただきました。また生徒たちの持つ人間力を改めて

感じさせられました。74期の学年団の強い希望で始めたプログラムでしたが、インターシップはこれから中高6か年の進路指導の中に計画的に組み入れ、別の形で定期的にも実施していきたいと考えております。

新型コロナウイルス流行に伴い中止していたアジア学院ワークキャンプを5年ぶりに再開し、6名の高校生が参加してくれました。アジア学院は正式にはアジア農村指導者養成専門学校とあります。栃木県那須塩原市にある農業の学校です。アジア・アフリカの農村指導者を日本に招き、9か月にわたり持続可能な有機農業とリーダーシップトレーニングを行います。ワークキャンプは農作業のお手伝いしながら、農業や食へること、アジア・アフリカの現状について学ぶ機会でもあります。私はアジア学院とは前職からのつながりがあり、今回は引率で参加しました。パキスタンから来ている学生のノミさんに地元の現状を話してもらった機会がありました。ノミさんが暮らすクリスチャンの村は、イスラムが国教のパキスタンの中で厳しい差別にあっていること、女子学生が暴力を心配して暮らさねばならないこと、そうした状況の中で女子学生の学びを保証するため命がけで働きたいこと、参加した生徒たちは自分たちが暮ら

している状況との大きな違いを生の声で聞き、強く心が揺さぶられたようです。学校から外に出て様々な活動に参加することを通して学ぶことの大切さを、改めて実感させられました。

生徒たちと一緒に地域の活動に参加して感じることは、本校の生徒の持つ力の大きさです。昨年度、今年度と安中地区のいじめ防止フォーラムを本校を会場に実施しました。近隣の小学校、中学校、高等学校の代表メンバーが集まり、いじめ防止のために意見を交わすプログラムです。本校の生徒会のメンバーが中心になって企画運営を行ったのですが、集まったメンバーを見事にリードして、充実した会になりました。目標を持って何かを達成する力、特に他者とコミュニケーションをしっかりとって協働して進めていく力の大きさを感じました。これから学校づくりも生徒たち、特に生徒会のメンバーの意見をよく聴きながら一緒に進めて行きたいと思えます。この夏、生徒会の要望に応える形でアイスクリーム自販機を導入しました。事前に校内のゴミの分別や整理整頓を今一度徹底し、学校を汚さない約束のもとに導入が実現しました。単に要求をするだけでなく、自分たちのすべきことも考慮して進める丁寧さが印象的でした。

旧約聖書の箴言1章7節に「主を畏れることは知恵の初め」という有名な言葉があります。旧約聖書を育んだイスラエル民族は、他国に征服され、長く自分達の国を持つことができなかった人々です。領土のないイスラエル民族は生き残るために「知恵」を重視しました。神の御言葉である聖書を熟読し、自然や世界を学ぶことを通して民族の生き残りを図ったのです。その知恵の原点は、「主」、すなわち神を畏れ敬うことだと言えます。聖書の語る知恵は単なる知識ではなく、生き方であり、生きる中で磨かれるものなのです。まさに現代求められている新しい学びの原点がここにあります。

新島裏が行った同志社の初期の教育も、教師が一方的に語るのではなく、今でいうゼミナール形式で、毎回課題について討論するような形式だったと初期の学生が証言しています。新島裏の教育理念は、今、日本の教育が目指そうとする新しい学びそのものでした。その点では時代が新島に追いついてきたというところでしよう。しかし、これからは国が新島の行ったような教育を目指し始めるということになります。うかうかしていません。追い越されていくことでしよう。改めて本校の建学の精神である新島裏の教育理念に立

ち戻りつつ、新しい学びへと邁進していきたくと思っています。それには地域の同窓生の皆様のお力添えが必須です。これからも母校のことを覚え、祈り、ご支援いただければ幸いです。



アイスクリーム自販機設置



いじめ防止フォーラム

恩師探訪

宮延雄先生の思い出

新島文化研究所 研究員 星野伸樹(32期)



在職中の宮 延雄先生

―逸話―

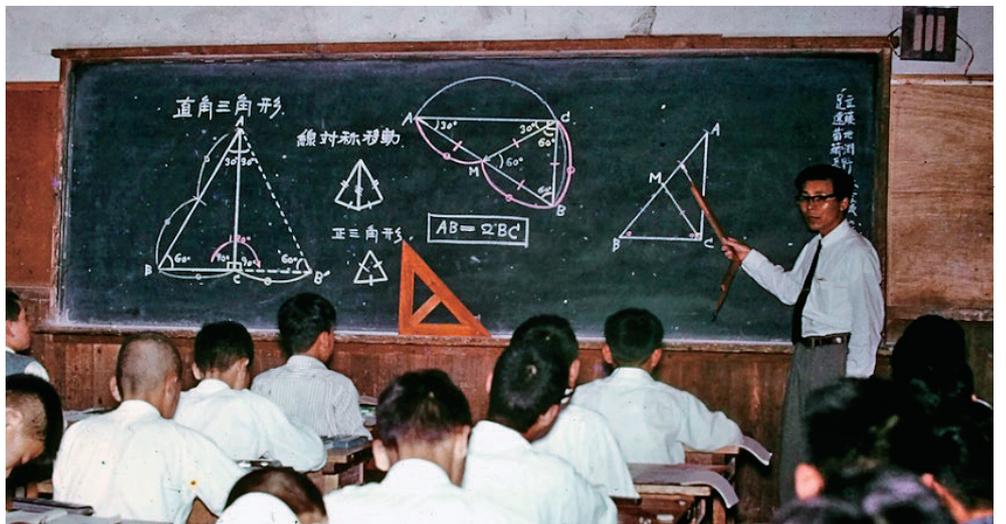
宮延雄先生の在職記録を、新島学園同窓会「根笹会」名簿2022年度版で確認をしました。すると、着任は開学時の1947年5月で、退職は1982年5月となっていました。宮先生は、群馬師範学校(現在の群馬大学共同教育学部)を卒業後に、富岡地域の公立学校の教師になることが決まっていました。しかし、その年(1947年)に開学するという新島学園の事を知り、自ら富岡の教職員組合に事情を説明して新島学園の教師となることを選んだのだと聞きました。

実はこうした宮先生の隠れた逸話をいくつも耳にします。富岡在住で、当時は自転車での通勤です。富岡から安中へは、通称「二丁八丁」と呼ばれる、なかなかの峠道を越えなければなりません。現在は舗装されて走りやすくなっているとはいえ、かなりの坂道です、当時はもちろん砂利道です。毎朝この峠道を、何人もの生徒を引率しての通勤通学風景は、もはや地域の風物のようにさえあったといえます。

―出会いと別れ―
筆者が新島学園高校に入学したのは1980年の4月でした。私の中学校からの入学は私一人だけでした。入学式の日から清心寮での生活は始まっています。寮の同期生はみんな別のクラスで、自分のクラスに寮生は私一人だけでした。そんなわけで、学内のルールはもちろん、寮のルールも分からないまま、不安な中で高校生活は始まりました。

―当時の事を思い出そうとする―
と、恥ずかしながら授業の思い出はあまり出てきません。しかし、クラス礼拝などで耳にした話は、今でも良く憶えています。

―設立に奔走する―
というものです。今思えば、こうした映画やドラマ、日常生活のちょっとした場面を切り取って、問題提起をしてくださったのでしよう。そして、「生徒自らが、その中にキリスト教的価値観を見いだし、人生について考えること」をさせようとしていたのではないかと思います。



15期生に向けての授業風景と思われる (1960年代)

翌年、先生は体調を崩し、療養生活に入りました。はじめに在職記録のことを書きましたが、実は(1982年5月)は宮先生がお亡くなりになった月なのです。その時、私たちは高校三年生でした。告別式は甘楽教会で行われ、私も多くの同級生と一緒に参列しました。私にとって初めてのキリスト教式の告別式参加でした。

― 思い出の中の恩師 ―

それから数年後、私たちも社会人となりました。ある時、友人(同期生)とひょんなことから宮先生の話題になりました。その友人は、医療系の大学を卒業し、ある大学の医科学研究所に勤務していました。何の気なしに、医療系への進学をめざした理由を訪ねたところ、私はその理由に驚かされました。

友人は次のように語りました、「私たちが高校二年の途中で、宮先生は療養生活に入ったよね。お見舞いに行ったところ、すごく辛そうなのが印象的だった。しかし、宮先生はお見舞いに来てくれたことをすごくねぎらってくれてね。そして、帰り際に私の手をギュッと握り『私は生きたい』とつぶやいた事が忘れられない。その時に、絶対に医療系をめざそうと決心したんだ。」

そういえば、私の同期生には、医師、歯科医師、薬剤師など医療関係従事者が多くいます。正式に数えたわけではありませんが、同世代の新島学園同窓生の職業と比較してみると、確かに多いと感じます。その友人と、宮先生の存在が、少なからず同期生の進路選択に影響したのは間違いないと結論づけました。そして、おだやかでありながらも、生徒と追いかけてくれる茶目っ気を忘れない恩師の姿に想いを馳せたのでした。

高校を卒業して40年以上が過ぎました。宮先生が最後に担任を持った私たちの学年も、宮先生が天に召された年齢を越える頃になりました。私は、以前あまり見ることもなかった、古い日本映画を見るようになり、その面白さを理解できるようになりました。これは私の勝手な想像ですが、宮先生は俳優志村喬さんの、控えめにふるまいながらも存在感のある演技が、とりわけ好きだったのだらうと思います。志村喬さんは、黒澤明監督作品以外の映画にも多く出演しています。私は、志村さんの出ているシーンを目にする、必ず宮先生のことを思い出します。そして、どうしても人物像とダブらせて見ずにはおれないのです。

2024年度『根笹会』理事・評議員会(総会) & 懇親会報告

6月1日(土) 於：マリエール WILL 高崎

6月1日(土) 新島学園同窓会『根笹会』総会ならびに懇親会が、マリエールWILL高崎にて行われました。

理事・評議員総数552名に対して、出席者67名、委任状提出者数243名の計310名。総会は定足数である2分の1を満たし成立しました。

オープニングは、聖歌隊による『新島学園学生歌一番』から始まり、映画『Les Misérables』より『Les Misérables medley』など三曲が演奏され、出席者は素敵な演奏を楽しみました。

総会は、萩原副会長の司会進行により、静会長の挨拶、理事長の挨拶が行われ、総会が開始されました。

第1号議案から第5号議案まで審議が行われ、承認。さらに、静会長より、根笹協賛金について、今後の学園支援

のために、まずは1000万円の定期預金としたい旨の提案があり、承認されました。

各地区根笹会の開催状況の報告に続き、中高の現状について小栗校長から報告があり、PTAの支援で体育館にエアコンが入ること、部活動の目覚ましい活躍の報告を伺いました。

短大の現状については、岩田学長から報告があり、2025年度から、食とビジネスをテーマにした、新コースの開始についてお話を伺いました。

総会終了後は、懇親会会場へ移動。湯川富岡根笹会会長の乾杯の挨拶を皮切りに、期を超えて楽しい歓談の場となりました。

最後は出席者全員で校歌を斉唱し、19期三宅豊氏による一本締めで2時間にわたる懇親会の幕を閉じました。



2023年度 第32回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

高等学校の部

	名称(部活動名等)	大会名	種 目	結 果
特別賞団体	ソフトボール部	関東高等学校男子ソフトボール選手権大会 鹿児島国体少年男子の部		優 勝 第3位
	陸上競技部	第76回群馬県高等学校対抗陸上競技大会 第35回群馬県高等学校新人駅伝競走大会	女子総合 女子の部	優 勝 優 勝
	テニス部	第58回群馬県高等学校総合体育大会 テニス競技	女子団体	第3位
		全国高等学校総合体育大会群馬県予選会 群馬県高等学校新人テニス大会	女子団体 女子団体	第3位 第3位
	バドミントン部	第75回群馬県高等学校新人バドミントン大会	学校対抗戦	準優勝
	奨励賞団体	山岳部	第67回関東高等学校登山大会	

	名称(部活動名等)	名 前	学年	大会名	種 目	結 果
特別賞個人	スキー・スケート部	丸 山 左右吾	2年	第4回ユース冬季オリンピック ショートトラックス スピードスケート日本代表選手選考競技会	500m・1500m	第3位
	陸上競技部	落 合 優希奈	2年	関東高等学校陸上競技大会	女子1500m	優 勝
		桑 原 理 緒	2年	関東高等学校陸上競技大会	女子400mH	優 勝
		川 田 夏 鳴	3年	第76回 群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子100mH	優 勝
		大 和 美早紀	2年	第76回 群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子走高跳	優 勝
		水無瀬 実 央	2年	第76回 群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子ハンマー投	優 勝
		清 水 り の	1年	第76回 群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子3000m	優 勝
		大 沢 紗 野	2年	群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子5000mW	優 勝
		小田島 美 恩	1年	群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子200m	優 勝
		黒 澤 心 菜	2年	第32回ぐんまマラソン ジュニアロードレース大会	高校女子5km	優 勝
		藤 井 大 輔	2年	群馬県高等学校陸上競技強化大会 男子2・3年の部	800m	優 勝
	秋 山 哲 聖	1年	群馬県高等学校陸上競技強化大会 男子1年の部	3000m S C	優 勝	
	バドミントン部	佐 瀬 龍之介	2年	第74回群馬県高等学校新人バドミントン大会	ダブルス	優 勝
		濱 西 心 太	1年	第74回群馬県高等学校新人バドミントン大会	シングルス・ダブルス	優 勝
	女子テニス部	倉 林 華 夢	1年	群馬県高等学校総合体育大会テニス競技大会 群馬県高等学校テニス新人大会	ダブルス シングルス・ダブルス	第3位 第3位
		石 井 愛 笑	1年	群馬県高等学校総合体育大会テニス競技	ダブルス	第3位
				群馬県高等学校テニス新人大会	ダブルス	第3位
奨励賞個人	バドミントン部	松 島 勇 海	3年	全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会 県予選会	ダブルス	第4位
	特別課外活動(新島論文)	菅 野 陶 子	3年	2023年度新島襄生誕181年記念生徒・学生懸賞論文 『新島襄と熊本バンド ～互いの存在意義とは～』	高等学校の部	佳 作
	放送部	宮 野 光 葉	2年	第70回NHK杯全国放送コンテスト群馬県大会(全国大会 準々決勝進出)	アナウンス部門	優秀賞
坂 琴 音		2年	第70回NHK杯全国放送コンテスト群馬県大会(全国大会 準々決勝進出)	朗読部門	優良賞	

中学校の部

	名称(部活動名等)	大会名	種 目	結 果
特別賞団体	演劇部	第12回関東中学校演劇発表会 第55回・第56回群馬県中学校演劇祭	銀 賞 最優秀賞(5大会連続)	
	ソフトボール部	第51回関東中学校ソフトボール大会(第45回全国大会 出場)		準優勝
	男子バスケットボール部	第58回群馬県中学校総合体育大会(関東大会出場)		準優勝
	男子テニス部	第58回群馬県中学校総合体育大会 第5回テニス大会	男子団体	優 勝
	女子テニス部	群馬県中学校新人大会 第5回テニス大会	女子団体	準優勝
	バドミントン部	第44回群馬県中学校春季バドミントン大会	団体戦	第3位

	名称(部活動名等)	名 前	学年	大会名	種 目	結 果
特別賞個人	特別課外活動(カーリング)	嶋 原 凜	3年	第40回中部カーリング選手権大会 (第41回全農日本カーリング選手権大会 出場)		優 勝
	特別課外活動(馬術競技)	笠 原 悠 希	3年	内国産ドレッサージュオープン I N御殿場2023	馬場馬術	優 勝
	バスケットボール部	鈴 木 颯 太	3年	群馬県バスケットボール協会 2023年度年間優秀選手	U15ベスト5	
奨励賞個人	英語部(英語弁論大会)	高 橋 明 莉	3年	高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会	決勝予選大会	出場
	卓球部	最 上 泰 地	3年	第58回群馬県中学校総合体育大会 (第51回関東大会男子シングルス 出場)	男子シングルス	ベスト8

「根笹賞」協賛金賛同者一覧 (2023年7月27日～2024年8月19日) 協賛金：企業の場合：1口10,000円 個人の場合：1口3,000円

協賛金 3,000円

山 縣 英 明 (1期) 淡 路 博 和 (2期) 田 村 量 基 (6期) 清 塚 正 男 (8期) 清 塚 洋 太 郎 (8期)
志 村 正 巳 (8期) 柘 植 正 (8期) 山 鹿 英 助 (8期) 新 倉 良 次 (9期) 田 島 武 夫 (10期)
小 島 信 生 (11期) 上 原 克 昌 (12期) 高 橋 洋 一 (12期) 吉 村 博 (16期) 松 崎 幸 雄 (17期)
磯 貝 和 俊 (18期) 松 江 実 (19期) 栗 原 昭 雄 (20期) 立 見 賢 治 (20期) 牧 野 正 知 (21期)
上 原 メ イ 子 (24期) 上 原 亮 (24期) 小 板 橋 秀 夫 (25期) 小 林 栄 郎 (25期) 上 原 薫 (26期)
角 谷 正 雄 (27期) 沖 田 恭 子 (28期) 山 田 浩 美 (28期) 杉 山 信 子 (29期) 小 船 晃 (29期)
臼 田 周 一 (30期) 桑 原 弘 光 (30期) 山 田 勝 光 (30期) 中 野 浩 伺 (32期) 石 井 智 美 (33期)
酒 井 三 恵 子 (36期) 新 野 和 伸 (36期) 安 中 広 明 (38期) 中 村 雅 樹 (39期) 高 澤 周 示 (42期)
伊 佐 治 千 尋 (46期) 中 政 一 郎 (49期) 吉 田 直 貴 (59期) 舘 野 由 梨 (62期) 小 林 拓 郎 (63期)
紋 谷 宥 典 (66期) 松 井 孝 裕 (67期) 紋 谷 萌 美 (69期) 近 藤 寿 音 (70期) 紋 谷 泰 輔 (70期)
佐 藤 慎 之 助 (72期) 長 壁 凜 乃 (72期) 【掲載辞退 16名】

協賛金 2口 6,000円

古 谷 健 (15期) 馬 原 弘 行 (23期) 島 津 文 弘 (27期) 齊 藤 昇 (28期) 紋 谷 直 幸 (32期)
島 田 伸 子 (42期) 下 村 直 人 (43期) 秋 葉 暁 (49期) 【掲載辞退 5名】

協賛金 8,000円

関 武 昭 (11期)

協賛金 3口 9,000円

大 木 直 之 (12期) 櫻 井 宏 信 (21期) 関 口 俊 介 (26期) 山 田 中 久 (26期) 田 中 美 香 (29期)
下 城 郁 雄 (37期) 有 田 大 輔 (41期) 池 下 寛 子 (42期) 【掲載辞退 4名】

協賛金 10,000円

鬼 形 正 明 (5期) 永 山 敏 之 (8期) 湯 川 重 男 (9期) 水 上 征 隆 (12期) 入 澤 忠 男 (15期)
阪 本 要 一 (15期) 諸 星 和 夫 (19期) 大 山 充 徳 (25期) 生 方 康 浩 (35期)
フォーチュンコンサルティング【小 林 謙 二 (15期)】 難 波 歯 科 医 院 【難 波 克 明 (15期)】
(株)島田教材社【島 田 芳 久 (17期)】 (株)コムテックス【小 林 正 明 (20期)】
(有)洛 楽【田 中 由 美 (25期)】 萩 原 建 設 (株)【萩 原 永 史 (25期)】
医 療 法 人 協 和 会 【新 井 哲 (29期)】 (株)セ イ デ ン 【有 賀 一 師 (30期)】
(株)湯川工務店【湯 川 嘉 昭 (31期)】 (株)並 木 【静 朋 人 (32期)】
(株)日本労務センター【山 田 恵 一 (37期)】 医 療 法 人 協 和 会 【新 井 卓 (39期)】
医 療 法 人 栄 和 会 【淡 嶋 匡 史 (40期)】 コ ム ワ イ ス タ ジ ョー 一 級 建 築 事 務 所 【行 本 昌 史 (40期)】
(株)永真工業【宮 永 真 実 (48期)】 【掲載辞退 3名】

協賛金 20,000円

町 田 鉄 工 (株)【町 田 隆 幸 (30期)】 (株)上毛テクニカル 【山 口 淳 (40期)】

協賛金 7口 21,000円

氷 見 國 雄 (47期) 室 伏 真 理 (48期)

協賛金10口 30,000円

舘 次 郎 (13期) 町 田 隆 幸 (30期) 福 田 朋 和 (48期) 松 本 海 翔 (70期)
中 一 陸 運 (株)【中 川 一 (15期)】 国 際 警 備 (株)【山 崎 健 (37期)】 【掲載辞退 1名 1社】

協賛金 50,000円

【掲載辞退 1名】

協賛金 100,000円

【掲載辞退 1名】

協賛金 500,000円

匿名 (10期)

合計 136名 1,640,000円 以上、ご賛同いただいた皆様 ありがとうございます

「根笹賞」協賛のお願い

在校生たちの功績を讃え、活躍を応援する新島学園同窓会活動の一層の充実を図るためには、皆様のご理解とご賛同が大きな助けとなります。昨年10月にも協賛のお願いをしたところ、多くの皆様から温かいご支援とご協力をいただきましたので、引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

地区根笹会・同期会

2023年度 開催報告

〈地区根笹会〉	東京根笹会	2023年7月7日(金)	18時30分	日本外国特派員協会	76名
	安中根笹会	2023年7月1日(土)	18時	並木苑	74名
	高崎根笹会	2023年10月6日(金)	18時	マリエールウィル高崎	60名
	前橋根笹会	2023年11月18日(土)	18時30分	ルヴァン	43名
	富岡かんら根笹会	2023年11月11日(土)	18時	ホテルアミューズ富岡	48名
	桐生根笹会	2023年9月16日(土)	17時	美喜仁館桐生店	32名
〈同期会〉	6期	2023年3月26日(日)		ホテルグランビュー高崎	107名
	6期	2023年9月7日(木)~8日(金)		晴観荘	15名
	28期	2023年9月16日(土)		ホテルメトロポリタン高崎	36名
	51期	2023年9月17日(日)		ホテルグランビュー高崎	60名
	29期	2023年10月15日(日)		高崎ワシントンホテル	43名
	31期	2023年10月21日(土)		エテルナ高崎	56名
	15期	2023年11月25日(土)		ホテルメトロポリタン高崎	25名
	38期	2024年1月3日(水)		ホテルグランビュー高崎	35名
	36期	2024年2月24日(土)		ホテルメトロポリタン高崎	50名
	17期	2024年2月17日(土)~18日(日)		磯部ガーデン	31名

2024年度 開催予定

〈地区根笹会〉	吾妻根笹会	未定			
	東京根笹会	2024年7月5日(金)	18時30分	日本外国特派員協会	
	安中根笹会	2024年7月6日(土)	18時	並木苑	
	高崎根笹会	2024年10月4日(金)	18時	マリエールWILL高崎	
	前橋根笹会	2025年実施予定			
	富岡かんら根笹会	2024年11月9日(土)	18時予定	ホテルアミューズ富岡	
	伊勢崎・佐波根笹会	未定			
	桐生根笹会	今年度実施しない			
	埼玉根笹会	未定			
	軽井沢根笹会	未定			

2023年度事業報告

年月日	事業名	場 所	備 考
2023年4月27日(木)	本部役員会	新島学園フィリアホール	総会について
6月3日(土)	理事・評議員会(総会)	マリエール高崎	
6月17日(土)	第33回学園祭	新島学園中学校・高等学校	
6月18日(日)	第33回学園祭	新島学園中学校・高等学校	
8月29日(火)	本部役員会	新島学園フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
8月30日(水)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園礼拝堂	主催:新島学園中学校・高等学校
8月31日(木)	サマーコンサート(生徒向けのみ)	新島学園礼拝堂	主催:新島学園中学校・高等学校
9月18日(月・祝)	第45回ゴルフ大会	富岡倶楽部	担当期:35期、41期
11月1日(水)	同窓会報「根笹」56号発行	同窓会報「根笹」郵送	
10月中旬	本部役員会	新島学園フィリアホール	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
2024年1月下旬	本部役員会(根笹賞選考会)	新島学園フィリアホール	新型コロナウイルス感染症防止のため書面決議
2月29日(木)	同窓会入会式	新島学園礼拝堂	高校卒業式予行にて
3月1日(金)	根笹賞授与式(高校)	新島学園礼拝堂	高校卒業式にて
3月19日(火)	根笹賞授与式(中学)	新島学園礼拝堂	中学卒業式にて

2024年度事業計画

年月日	事業名	場 所	備 考
2024年4月30日(火)	本部役員会	新島学園フィリアホール	総会について
6月1日(土)	理事・評議員会(総会)	マリエールWILL高崎	
7月	本部役員会	新島学園フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
9月1日(日)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園礼拝堂	主催:新島学園中学校・高等学校
9月2日(月)	サマーコンサート(生徒向けのみ)	新島学園礼拝堂	主催:新島学園中学校・高等学校
9月16日(月・祝)	第46回ゴルフ大会	富岡倶楽部	担当期:36期、42期
11月1日(金)	同窓会報「根笹」57号発行	同窓会報「根笹」郵送	
11月中旬	本部役員会	新島学園フィリアホール	
2025年1月中旬	本部役員会	未定	根笹賞選考会
2月28日(金)	同窓会入会式	新島学園礼拝堂	高校卒業式予行にて
3月1日(土)	根笹賞授与式(高校)	新島学園礼拝堂	高校卒業式にて
3月19日(水)	根笹賞授与式(中学)	新島学園礼拝堂	中学卒業式にて



第13回高崎根笹会

令和6年10月4日(金)マリ
 エール高崎にて第13回高崎根
 笹会(会長 小林正明氏20期)
 総会及び懇親会が開催されま
 した。

学園より理事長他、安中・前
 橋・富岡かんら・桐生各地区根
 笹会長の御来賓を頂き総勢73名
 出席、盛会にて終了致しました。



31期同窓会報告

令和5年10月21日(土)エテルナ
 高崎レッドルームにて、星野先
 生・小瀧先生をお迎えして、31
 期同窓会を6年ぶりに開催しま
 した。

計算上は還暦を迎えたはずで
 ある56人の参加者は、卒業アル
 バムの写真を胸に和気あいあい
 と学生時代を懐かしみ、そこか
 しこで笑顔があふれています。

次は3年後に会えることを約
 束して解散するも、2次会へと
 流れていった仲間たちでした。

31期 佐藤貴雄

安中根笹会

高崎根笹会は毎年10月開催
 しており同窓皆様のご参加を
 お待ちしております。

37期 菊地和美

令和6年7月6日(土)並木苑
 において安中根笹会(萩原永
 史会長(25期))総会および懇
 親会が総勢78名にて開催され
 ました。

来賓として湯浅理事長を始
 め学園関係者、静同人同窓会
 長を始め各地区根笹会長のご
 出席をいただき盛会に開催す
 ることができました。

31期 佐藤貴雄

新島学園サマーコンサート

2024年9月1日(日)・2日(月)

9月1日(日)、2日(月)に礼拝堂にてサマーコンサート
 が実施されました。今年イタリア出身のオルガニスト、
 クラウディオ・ブリツィさんと、ピアニストの渡辺美穂さん
 による演奏です。

パイプオルガンは一台でオーケストラに匹敵するほどの
 様々な音色を奏でられるといわれています。今回の
 コンサートでは、ブリツィさんご自身でオーケストラ
 部分をオルガン用に編曲したベートーヴェンのピアノ
 協奏曲も演奏され、壮大で美しいオルガンと清らかな
 ピアノのハーモニーが礼拝堂いっぱいに響きまし

た。9月2日に実施された高校生向けのコンサートでは、
 たくさんの拍手の中、ハリーポッターのテーマをモチ
 ーフにしたブリツィさんによる即興曲がアンコールとして
 披露され、礼拝堂が一層盛り上がりました。

終演後の「このオルガンは学園の宝物ですね」との
 ブリツィさんのお言葉が大変印象的でした。また来年も、
 多くの方々に素晴らしい音楽を楽しんでいただけるよう
 取り組んでまいりたいと思います。

サマーコンサートのプログラムは下記の通りです。

■ Program

- F. シューベルト／アヴェ・マリア (ブリツィ編曲：オルガンとピアノ版)
- G. マルティーニ／ソナタ第16番、第17番 八長調
- W.A. モーツァルト／G. サルティの歌劇「他人のけんか得をする」のミン
 ゴーネのアリア「仔羊のごとく」による8つの変奏曲
 イ長調 K.460
- P. マスカーニ／歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲 (A. ライン
 ハルト編曲/ピアノとオルガン版)
- J.G. アルブレヒツベルガー／フーガ 二短調 作品1-6、フーガ 八短調 作品
 7-2
- L.V. ベートーヴェン／パイジェットの「水車小屋の娘」より二重唱「もはや私
 の心には感じない(うつろな心)」による6つの変奏曲
- L.V. ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番 作品37より アレグロ・コン・ブ
 リオ(ブリツィ編曲：オルガンとピアノ版)
- J.S. バッハ／トッカータとフーガ 二短調 BWV565

新島学園中学校|高等学校
Summer Concert 2024
 一般向けサマーコンサート
ーオルガンとピアノの調べー

2024年 9月1日(日)

- ◆ 新島学園中学校|高等学校 礼拝堂 (新島学園中学校実習棟5F)
- ◆ 16:00開演 (15:30開場)
- ◆ 入場無料 (全席自由)
- ※チケットはございませんので、当日ご来場ください

クラウディオ・ブリツィ (オルガン)
 クラウディオ・ブリツィは、イタリア出身のオルガニスト、ピアニスト、作曲家。新島学園中学校・高等学校に在学中から、オルガンの演奏に情熱を注ぎ、卒業後も、国内外で数々のコンサートに出演し、高い評価を得ている。今回のコンサートでは、自身の編曲したベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を、オルガンとピアノで演奏する。

渡辺美穂 (ピアノ)
 渡辺美穂は、ピアニスト、作曲家。新島学園中学校・高等学校に在学中から、ピアノの演奏に情熱を注ぎ、卒業後も、国内外で数々のコンサートに出演し、高い評価を得ている。今回のコンサートでは、自身の編曲したベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を、オルガンとピアノで演奏する。

主催 新島学園中学校|高等学校
 共催 新島学園中学校|高等学校同窓会、新島学園同窓会 協力 音楽院同窓会音楽アカデミー事務局
 印刷 2024年10月27日発行 (02-281-0240) 新島学園中学校|高等学校

第46回新島学園同窓会ゴルフ大会報告

日時 2024年9月16日 (月祝)
会場 富岡倶楽部 (富岡市)

さる9月16日(月祝)、富岡倶楽部において、厳しい残暑の中、同窓会ゴルフ大会が開催されました。

36期・42期の同窓生が運営幹事を担当し、幹事期の皆さまより積極的なお声掛けの結果、参加人数は112名(うち女子22名)と、今年も多くの同窓生にご参加いただき盛大なゴルフ大会となりました。



結果報告 (敬称略)

優勝

三根 慎也 (47期)
イン 44 ネット 33.2

女子優勝

山岸 勝美 (26期)
アウト 49 ネット 35.8

ベストクロス

福島 克彦 (11期)
イン 38

- 準優勝 野田 典靖 (31期)
- 3位 塩野 智也 (27期)
- 4位 樋口 守敏 (11期)
- 5位 松岡 武 (46期)
- 6位 五十嵐 強 (31期)
- 7位 宮川 秀彦 (36期)
- 8位 塚田 功 (40期)
- 9位 中島 雄平 (46期)
- 10位 榊 研二 (35期)



また2022年の同大会開催から、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、プレー後の表彰式は行わず、前半ハーフプレーでのスコア集計方法を採用し、1ラウンド終了後には、成績表と賞品を受け取る形式に採用しております。

一堂に会した表彰式パーティーを行わないことは、同窓生の交流も少なくなってしまうのではないかと、懸念点もあります。が、同級生はもとより、先輩・後輩との久々の再会に、プレー終了後や賞品受け渡し会場では学年を超えた交流も、例年に変わず多数見受けられ、運営する幹事の皆さまも安堵の表情で



優勝 三根慎也氏 (47期)

した。

さらには、今年もたくさん同窓生からの協賛賞品をご提供いただきました。本大会運営におきまして、協賛賞品提供や多大なるご協力いただきましたこと、また開催コースのスタッフの方々のご配慮には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。次第でございます。

来年の「第47回新島学園同窓会ゴルフ大会」開催は、2025年9月15日(月祝)に、同「富岡倶楽部」において行う

予定です。幹事担当は37期・43期生の皆さまです。宜しくお願いたします。

今年ご参加の皆さまはもとより、特に30・40・50期以降の皆さまの積極的なご参加を期待しております。

【追記】2020年、2021年と新型コロナウイルス感染症による2度の同ゴルフ大会の開催中止を挟み、20期前後より上の世代の参加が減少していることは、昨今の夏の気温や年齢も加味して致し方なく思うところもありますが、来年の開催も盛大に行いたく思いますので、学年問わず誘い合わせの上、大先輩方も是非ともご参加賜りますようお願い申し上げます、本年の報告といたします。

(45期 荻原昌弘)

高橋紗知さん (57期) 『本と雑貨クリオ』を開店



57期 高橋紗知さんが、富岡市にブックカフェを開店しました。

店名の由来は「Curiosity(好奇心)」。『好奇心をくすぐるワクワクする本』を独自の目線でセレクトし、販売しています。また雑貨の販売や喫茶スペースも併設され、ゆったりと寛ぐこともできます。

幅広い年代の人が、気軽に集まれる居場所になることを考え、「絵本の読み聞かせ」「大人の読書会」などのイベントも定期的に開催。

国語の教員免許も持つ高橋さんは「国語おたすけ教室」も今後開設予定。お近くにお越しの際は気軽に立ち寄り下さいとのこと。

『本と雑貨クリオ』

群馬県富岡市富岡509-1

平日 12時~19時

土日 11時~19時

水・木 定休

【事務局長 須川 裕】

2023年度同窓会決算報告

一般会計

2023年度 収支決算書

収 入 (2023.4.1~2024.3.31) (単位:円)

科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考
前年度繰越金(1)	17,242,323	17,242,323	0	
同窓会費収入	3,890,000	3,910,000	20,000	10,000×391名 (高1・225名 中1・166名)
名簿代収入	9,000	36,000	27,000	
利息収入	400	332	▲68	定期204円 普通128円
雑収入	1,500,000	1,767,710	267,710	根笹協賛金
収入小計(2)	5,399,400	5,714,042	314,642	
収入合計(1)+(2)	22,641,723	22,956,365	314,642	

支 出 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考
印刷費	0	0	0	
会議費	800,000	522,133	▲277,867	総会・役員会等
事務費	160,000	153,174	▲6,826	コピーリース145,200円 使用料等7,974円
消耗品費	20,000	4,404	▲15,596	USB等
遠征費補助金支出	300,000	195,000	▲105,000	部活動全国大会出場祝金
同窓会等助成金支出	200,000	280,000	80,000	各期同窓会 10同窓会 地区根笹会 6か所
旅費交通費	10,000	10,000	0	
通信費	85,000	100,783	15,783	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	140,000	110,000	▲30,000	ホームページ110,000円
同窓会主催事業費	1,700,000	1,694,633	▲5,367	根笹基金振替 根笹送付等
学園祭協賛金	300,000	300,000	0	
雑費	70,000	39,550	▲30,450	県下高校OB・OGゴルフ等
予備費	30,000	0	▲30,000	
支出小計(4)	3,815,000	3,409,677	▲405,323	
当年度収支差額(2)-(4)	1,584,400	2,304,365	719,965	
次期繰越(5)	18,826,723	19,546,688	719,965	
支出合計(4)+(5)	22,641,723	22,956,365	314,642	

注:予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

一般会計

2024年度 収支予算書(案)

収 入 (2024.4.1~2025.3.31) (単位:円)

科 目	前年度決算額	予算額	増 減	備 考
前年度繰越金(1)	17,242,323	19,546,688	2,304,365	
同窓会費収入	3,910,000	3,770,000	▲140,000	10,000×377名 (中1・137 高1・240)
名簿代収入	36,000	40,000	4,000	
利息収入	332	400	68	前年実績
雑収入	1,767,710	1,800,000	32,290	根笹協賛金・総会参加費
収入小計(2)	5,714,042	5,610,400	▲103,642	
収入合計(1)+(2)	22,956,365	25,157,088	2,200,723	

支 出 (単位:円)

科 目	前年度決算額	予算額	増 減	備 考
印刷費	0	0	0	
会議費	522,133	650,000	127,867	会議費・総会費用
事務費	153,174	160,000	6,826	コピーリース料・使用料
消耗品費	4,404	5,000	596	
遠征費補助金支出	195,000	250,000	55,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	280,000	300,000	20,000	同窓会・地区根笹会補助
旅費交通費	10,000	10,000	0	事務局関係旅費
通信費	100,783	105,000	4,217	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	110,000	110,000	0	ホームページ更新料
同窓会主催・共催事業費	1,694,633	1,700,000	5,367	根笹送付費用・根笹基金 充当金等
学園祭協賛金	300,000	0	▲300,000	
雑費	39,550	40,000	450	
予備費	0	30,000	30,000	
支出小計(4)	3,409,677	3,360,000	▲49,677	
当年度収支差額(2)-(4)	2,304,365	2,250,400	▲53,965	
次期繰越(5)	19,546,688	21,797,088	2,250,400	*
支出合計(4)+(5)	22,956,365	25,157,088	2,200,723	

注:予算差異の▲は、前年度実績を下回る予算額を意味する。
*次期繰越のうち1,000万円を下記財産目録記載の定期預金に移動する。

収支決算 財産目録

資産の部 (単位:円)

資産の部	決算額
現金 41,076円 振替口座 2,882,600円	2,923,676
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	16,623,012
繰越金残高計(a)	19,546,688
固定性定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000
正味財産(a)+(b)	31,546,688

予算案 財産目録

資産の部 (単位:円)

資産の部	前年実績	予算額
現金・振替口座	2,923,676	4,500,000
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	16,623,012	7,297,088
繰越金残高計(a)	19,546,688	11,797,088
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000	22,000,000 上記普通預金から 1,000万円を移動
正味財産(a)+(b)	31,546,688	33,797,088

根笹基金

2023年度 収支決算書 (2023.4.1~2024.3.31)

収 入 (単位:円)

科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	15,625,725	定期預金 15,000,000円 普通預金 625,725円
同窓会口座より振替	300,000	
利息収入	262	定期預金利息 255円 普通預金利息 7円
雑収入	118,000	ゴルフチャリティー
収入小計(1)	418,262	
合計	16,043,987	

支 出 (単位:円)

科 目	決算額	備 考
褒賞費	203,260	ギフトカード
賞状ファイル代	15,510	賞状印刷代
雑費	550	残高証明書
支出小計(2)	219,320	
当年度収支差額(1)-(2)	198,942	
次期繰越金	15,824,667	
支出合計	16,043,987	

根笹基金 財産目録

資産の部 (単位:円)

普通預金 群馬銀行/安中支店 No.741658	824,667
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.378360	15,000,000
正味財産	15,824,667

会計監査報告

2023年度(2023年4月1日~2024年3月31日)の一般会計及び根笹基金会計の会計帳簿並びに証書類を監査した結果、すべて適切・正確に処理されていると認めます。

2024年4月30日
会計監査人

根 岸 茂
伊 田 周
横 山 慶

お知らせ

これまでの同窓会報「根笹」のバックナンバーは、同窓会のホームページ
(<https://www.neesima-dosokai.jp/>)からご覧いただけます。



【『根笹』最近掲載の主な寄稿文】

第48号

■ **新たなステージにおける新しい新島学園作りについて**
- No Place like Niijima -
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **新島襄の志を継ぐ**
「今、新島学園は、新島学園になっていますか！」
新島学園中学校・高等学校 校長 岩間 秀彬

■ **新島学園短期大学学長に就任して**
新島学園短期大学 学長 岩田 雅明

第49号

■ **新島学園創立70周年記念プロジェクト**
『平成の新島学園オートキャラバン隊』活動報告
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **喫緊の課題（生徒募集）に競い勝ち、将来の課題（人工知能の世界）にも生き残れる生徒の育成を目指して！**
新島学園中学校・高等学校 校長 岩間 秀彬

■ **「新島学園との出会い、それから」**
元新島学園中学校・高等学校教師 小瀧 秀夫 (21期卒)

第50号

■ **70周年を迎える全ての新島学園ファミリー・コミュニティの皆さまへ**
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **創立70周年を迎え**
新島襄の原点に立ち返り、新たな行動指針で臨む
新島学園中学校・高等学校 校長 岩間 秀彬

■ **学園祭を訪ねて**
Niijima Journey - 70周年から未来への旅 -
新島学園同窓会 副会長 静 朋人 (32期)

■ **寄稿文 ビックリ 帆船三姉妹**
淡路 博和 (2期)

第51号

■ **改めて『新島学園のキリスト教教育』を考える**
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **変化の中の新島学園中学・高校と将来の方向**
新島学園中学校・高等学校 校長 岩間 秀彬

■ **恩師探訪 ハーバート・ベーケン 先生**
- 『バイブルクラス』・『米国旅行』によせて -
教頭 星野 伸樹 (32期)

第52号

■ **苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む**
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **新たなる出発、今思うこと**
新島学園中学校・高等学校 校長 古畑 晶

■ **恩師探訪 『新島学園同窓会の立役者』岡 賢 先生**
第32期生 星野 伸樹 (32期)

第53号

■ **息を合わせる - 60期生以降の皆さんへ**
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **高校ソフトボール部 第13回U18男子ソフトボール WORLD CUP in NewZealand 報告**
新島学園高等学校ソフトボール部顧問 45期生 田中 徹浩

第54号

■ **教育の五原則 新島学園ファームの意味**
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **新島学園開校記念講演会**
新島学園てどんな学校？ - その歴史と特徴 -
同志社大学名誉教授 学校法人新島学園 理事 原 誠

■ **恩師探訪 里見義康 先生**
新島文化研究所 星野 伸樹 (32期)

第55号

■ **いのちの教育について**
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **「試練の後には…」**
新島学園中学校・高等学校 校長 古畑 晶

■ **男子バスケットボール部**
「県大会初優勝」という『てっぺん』から見たもの
新島学園高等学校 男子バスケットボール部顧問 青柳 保志

■ **恩師探訪 山縣英明 先生**
新島文化研究所 星野 伸樹 (32期)

第56号

■ **「いのちの教育2023について」**
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

■ **校長就任にあたって**
新島学園中学校・高等学校 校長 小栗 仁

■ **恩師探訪 肥後正久先生の想い出**
『ネクタイ・カレー・清心寮・笑顔』
新島文化研究所 星野 伸樹

